



イマ.チャレ



Annual Report
2023



はじめに

いつも格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2021年よりジャーナル発行とイベントによる「情報発信」からスタートしたイマチャレですが、今年は部活動改革の推進期間に入り、様々な自治体・学校・地域スポーツ団体・省庁・企業の皆様との「共創」へと発展することが出来ました。心より御礼申し上げます。

今年一年の活動や成果についてまとめた年間レポートをご用意いたしました。ぜひご一読いただき、イマチャレの全体の取り組みや進捗状況についてご確認いただければと思います。

部活動改革は、今後の日本のスポーツ界・教育界の運命を左右するともいえる大きな社会課題ですが、

全国で改革を実施されている皆様と力を合わせて壁を乗り越え、よりよい未来を創造していければと考えておりますので、来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

イマチャレ製作委員会・事務局
(エデュシップ株式会社)

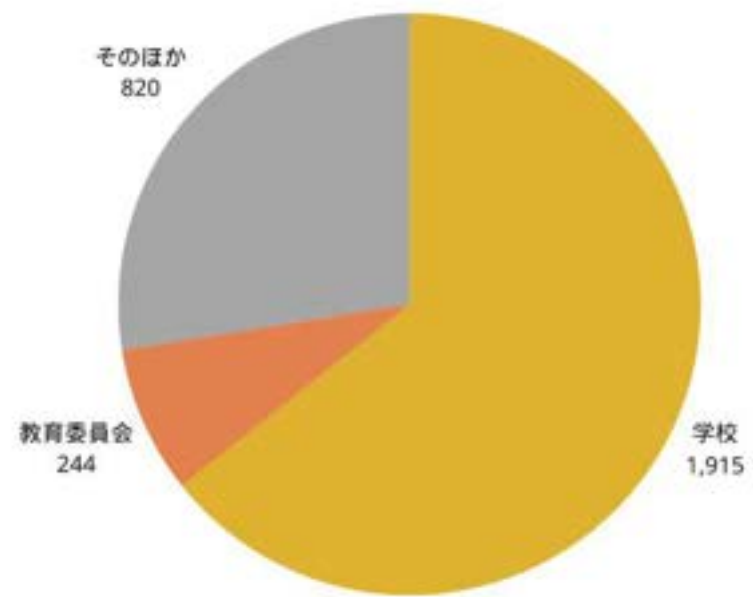
学校スポーツジャーナル「イマチャレ」の発行（6号・7号）



2023.3月発行



2023.8月発行



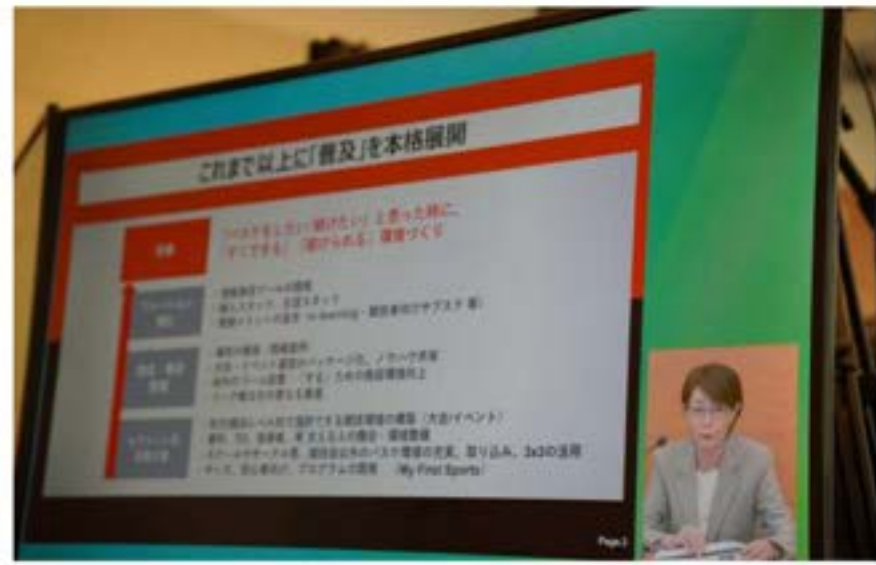
イマチャレ
定期購読者数 **2,979**
うち自治体 **244**

次号（8号）は2024年2月発行予定

<テーマ>

「いよいよ始まる部活動の地域移行、
私たちはどんな未来を目指すのか？」

3/27 イマチャレコンベンション2023SPRING



全国から700名を超える学校・自治体・地域スポーツ関係者の皆さんにもご参加頂き、
イベント中のアンケートには200件以上の回答、ご意見やご感想も100件近く回答を頂き、
登壇者の皆様及び視聴者の皆様のおかげで、非常に前向き且つ本質的な会になりました。

<テーマ>

「いよいよ始まる部活動の地域移行、
私たちはどんな未来を目指すのか？」

3/27 イマチャレコンベンション2023SPRING

オープニングセッション

2023.3.27

イマチャレの現在地と「チャレンジシティ」のスタート

これからの学校スポーツと地域スポーツ

三屋裕子
日本バスケットボール協会 会長

室伏広治
スポーツ庁 長官

永田恭介
筑波大学 学長

イマチャレ 令和7年度末までに、
休日の部活動の地域移行は進むのか？

これからの学校スポーツと地域スポーツ

代田昭久
JFA 代表理事

三屋裕子
日本バスケットボール協会 会長

室伏広治
スポーツ庁 長官

永田恭介
筑波大学 学長

イマチャレ 部活動の地域移行、及び改革のためには何がカギになるのか？

部活動改革で産業界が「イマ」出来ること

経済産業省
サービス経済推進スポーツ産業室長
吉倉 秀和

ソフトバンク株式会社
サービス事業本部コンテンツ推進課長
長川 智哉

イマチャレ

「未来のバカッ」が目指すもの
～2022年度実践の成果より～

学校スポーツDXの取り組み

イベントのアーカイブ動画は
[イマチャレ公式Youtube](#)で公開中！

EDIX（教育総合展）に出展！



セミナースケジュール

5月10日 水

セミナー①
13:00～13:30
部活動改革の取り組み
～藤田市の事例～
代田 昭久

セミナー②
14:30～15:00
小学校体育が変わる！
無料教材サービス
佐藤 社二郎

セミナー③
16:00～16:30
学校体育における
ICTツール活用
星川 智哉

5月11日 木

セミナー①
13:00～13:30
部活動改革の取り組み
～藤田市の事例～
代田 昭久

セミナー②
14:30～15:00
小学校体育が変わる！
無料教材サービス
佐藤 社二郎

セミナー③
16:00～16:30
学校体育における
ICTツール活用
星川 智哉

5月12日 金

セミナー①
13:00～13:30
部活動改革の取り組み
～藤田市の事例～
代田 昭久

セミナー②
14:30～15:00
小学校体育が変わる！
無料教材サービス
櫻井 義孝



5月10～12日にEDIX（教育総合展）東京、6月14～16日にEDIX関西にイマチャレが参加。イマチャレの共創パートナーであるソフトバンク株式会社の「AIスマートコーチ」のブース内にてイマチャレやカラチャレ（小学校体育の無料教材サービス）の紹介やセミナーを実施しました。

8/18 イマチャレコンベンション2023SUMMER

イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

8/18 13:30 ~
FRI オンライン配信

部活動改革、最前線
— 実践知を結集する —

参加企業

ソフトバンク株式会社
株式会社シーエスエス
株式会社電算システム
株式会社JT



徳川市
教育委員会



筑波大学
体育スポーツ部
稲垣和希

前徳川市教育委員
代田昭久

一般社団法人
徳川山コアイテッド
片野翔大

東京大学
大山高

オンライン配信
佐藤社一郎

筑波大学
体育スポーツ部
山田寛樹

現地・オンライン合わせて、全国から850名以上の皆さん（自治体、学校、地域スポーツクラブ団体や協会、さらに現役の高校生も！）にご参加いただきました1日目は部活動改革の実践者による発信、2日目は部活動改革を実践するためのワークショップを実施しましたが、イベントのテーマである「実践知を結集する」の言葉通り、部活動改革の実践者が各地域で様々な壁を乗り越え積み上げてきたノウハウの共有、そして何より登壇者の皆さんの覚悟や熱量、未来を創るポジティブなエネルギーを感じて頂ける会になりました。

イベントレポートは[こちら](#)

8/18 イマチャレコンベンション2023SUMMER



8/18 イマチャレコンベンション2023SUMMER

イマチャレ コンベンション 2023 SUMMER

イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

第1部 メインセッション

全国の子どもたちが求める
文化・スポーツ活動とは何か？

—イマチャレ1万人アンケートの結果から—

イマチャレ制作委員会

部活動改革、最前線
—実践知を結集する—



イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

部活動改革、最前線
—実践知を結集する—

部活動や学校の課題を外部の力で解決する
～イマチャレ共創パートナーの事例から～

TREE PAYMENT

(株式会社シーエスエス・株式会社電算システム)
ソフトバンク株式会社

イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

部活動改革、最前線
—実践知を結集する—

実践セッション—地域クラブ編—

地域クラブが動かす、部活動改革

スポーツを通じて
「認知山を、夢応援のまち」へ

片野 翔大 氏

—認知山を、夢応援のまち—
認知山を、夢応援のまち



イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

部活動改革、最前線
—実践知を結集する—

実践セッション—教育委員会編—

部活動の本質的な見直しへ

かけがわ地域クラブ で
持続可能な
文化・スポーツ活動の実現する

掛川市教育委員会



イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

部活動改革、最前線
—実践知を結集する—

第4部 実践セッション

部活動の「当たり前」を問い直す

世界の常識である
「マルチスポーツ」とは何か

大山 高 氏

—世界の常識である—
「マルチスポーツを科挙する」著者



8/19 イマチャレコンベンション2023SUMMER (現地参加者のみのワークショップ)



イマチャレ全国アンケートの実施

2023年度、イマチャレは全国の自治体に「子どもたちにとっての理想のスポーツ・文化環境を考えるアンケート」を無料で提供・分析。

大人だけでは
決めない！
部活動の地域移行

イマチャレ

本日は

子どもたちにとっての理想のスポーツ・文化環境を考えるアンケート
から始めてみませんか？

2023年度から公立中学校の部活動の理想的な地域移行が始まります。全国の自治体や学校現場は「地域移行」に向けて、様々な環境を整備し、子どもたち一人一人に合った多様なスポーツ環境・教育環境を実現していかなければなりません。そのためには、当事者である子どもたちが一歩に参加し、部活動の未来を創っていくことが大切です。

2023年4月1日より子ども基本法（6）が施行される今だからこそ、子どもたちの笑顔に合った部活動改革をもつ一歩をみてはいかがでしょうか。イマチャレは全国の自治体に「子どもたちにとっての理想のスポーツ・文化環境を考えるアンケート」を無料で提供しています。ぜひご活用ください！

※ 本日は子どもたちの権利義務の4つの一歩を踏み出すために使われています。

1. 全国、そのほか自治体、国や都道府県（国や都道府県に委託すること）
2. 子どもたちの権利（子どもたちによって認められること）
3. 子どもたちの権利（国や都道府県に委託すること）
4. 国や都道府県（国や都道府県に委託すること）

詳細はこちらへ

期間：～2023年10月

全国データ数：23,088名

参加した自治体：

石岡市、岩倉市、茨城町、大津町、
加賀市、掛川市、北谷村、京丹波町、
黒潮町、白井市、須賀川市、垂水市、
富谷市、名護市、姫路市、真岡市、
宮崎市、読谷村（五十音順）

※ 各自治体で調査を実施し、匿名化したデータを取得

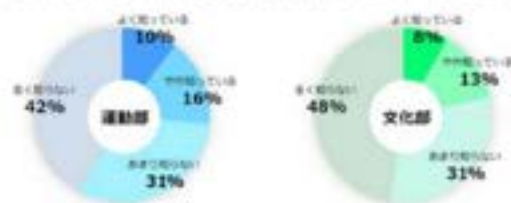
イマチャレ全国アンケートの実施（一次集計結果の抜粋）

イマチャレ コンベンション
2023 SUMMER

アンケート結果から見えてくる
部活動の本質的な課題

テーマ1：生徒の「部活動改革」への理解

■ Q：スポーツ庁・文化庁では、休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？



部活動改革が進んでいることを知っている生徒は少ない

テーマ2：生徒の生活実態

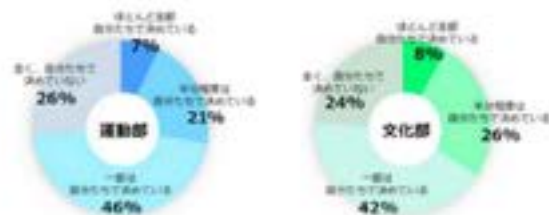
■ 部活動の日数・時間の平均

	運動部		文化部	
	平日	休日	平日	休日
日数	4.0日/週 (SD: 17%)	1.1日/週 (SD: 8%)	3.3日/週 (SD: 10%)	0.6日/週 (SD: 2%)
時間	2:15min/日 (2nd: 36%)	2:45min/日 (3rd: 45%)	2.0h/日 (2nd: 25%)	1:30min/日 (3rd: 39%)
総時間数	530h/年		338h/年	

※ 回答者数：運動部1,075名、文化部1,075名

テーマ3：現在の部活動における主体性

■ Q：現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか？



テーマ4：より良い地域活動に向けて

■ Q：どんな文化スポーツ活動なら、より満足できるものになると思いますか？（3つまで回答可）



2024年2月には、本アンケートの詳細な分析結果とイマチャレからの提言を含めた記者発表を実施する予定です。

イマチャレ「チャレンジシティ」のサポート開始

イマチャレが自治体の部活動改革を伴走支援する「チャレンジシティ」を開始！ 第一弾として静岡県静岡市・高知県黒潮町と提携。

Challenge City

静岡県静岡市 Shizuoka City, Shizuoka Prefecture



静岡市は、自然と文化と食の自然に恵まれた、人口約45万人の政令指定都市。お茶、みかん、梨、ぶどう、静岡茶などがある。古くから今も中国や韓国や台湾の輸出先として発展。スポーツも盛んで、清水スズランズやヤマハサッカー静岡など、サッカー、バスケ、バレーボール、ラグビー、卓球、ソフトボールの5つの種目で7つのチームがホームタウンとして拠点を構えている。

部活動改革の背景

近年、中学生の学校生活にも部活動が増えてきています。静岡市の中学生は、39校所で学級していますが、学校数は変わっていません。つまり、学校数が増えたとはいえず、部活動の増加が顕著です。子どもたちの運動量の減少や健康意識・生活習慣の向上が課題が顕著になってきました。従来の学校生活の部活動というだけでは対応が難しく、部活動改革に取り組んでいます。

まず何からスタートしたのか?

改革を進めるにあたって、まず、改革がそれぞれの教育者にとって意義あるものとなるよう、「大切にしてほしい領域」につ

いて検討しました。その中で、「早期段階で家庭状況に左右されることなく子どもたちがスポーツ生活に親しめる機会を提供すること」、「活動を通して社会性や主体性を育む、人間的成長の場とする」と、「活動が健康や健康意識が顕著な中学生にとって有意義な体験を提供すること」の3つを大切にしたいと整理しました。これらを踏まえ、構築したのが学校部活動に代わる新しい静岡市の部活動プログラム「イマチャレ」です。



Challenge City

高知県黒潮町 Kuroshio Town, Kochi Prefecture



黒潮町は、高知県中部「大分町」と「佐賀町」が合併し、平成13年1月1日に誕生し、まちとして誕生。「人の文化、自然の文化、食文化の文化」が命の宝庫。国産の産物があり、高知県中部の産物の宝庫となる町で、人口は約1万人。国産の産物が多い気候を活かした、産物直売や販売、体験を中心とした農業中、シニアやシニアなどの視察も行われている。「土産をテーマにした農業」が進んで、近年は完全自然産物と伝統的作物。

黒潮町長 佐藤 隆夫



地域のウェルビーイングに繋がる持続可能な部活動の構築へ

静岡の部活動部活動を発展に実行するという動きは、地方自治体だけでなく、子どもたちやアスリートも抱えています。今年で学校の部活動が行われてきた部活動を地域ネットワークして活動に結びつけて、国産ネットワークだけでは不足が中学生子どもたちも楽しむスポーツ。さらに中学生だけでなく小学生も参加者、障がいのあるなしにかかわらず誰もが気軽にスポーツを楽しむことが出来る民間スポーツ団体の育成に繋がることも多くなっています。部活動の地域移行は、その人財に活かす仕組みです。したがって、子どもや教育の側から活動などの課題を解決するこ

とに目を向けさせずに、生活にあたってスポーツを楽しむことが一人一人の幸せ（ウェルビーイング）に繋がると持続可能な部活動の地域移行を目指しています。

- イマチャレアンケートの実施**
- 部活動の地域移行に関する協議会にてイマチャレ製作委員会が設置 (2023.6.15)**



2024年「チャレンジシティ」を拡大！

2024年は「チャレンジシティ」の自治体数をより拡大し、
全国のネットワークで部活動の課題解決を行っていきます。

イマチャレが**部活動改革**を1年間全面サポート！
チャレンジシティを募集します。



部活動改革のお悩み事を
イマチャレのネットワークで**解決**！

- ☑ 部活動の地域移行、具体的に何をすれば良いかわからない
- ☑ 部活動改革の各課題について相談できる仲間がない
- ☑ やるべきことは分かってきたが、業務量が多く、資料作成量が大きい

チャレンジシティになると、イマチャレのこんなサポートが受けられます！

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 部活動改革推進会への参加（年1回程度） | 2 課題解決に向けた企業とのマッチング |
| 3 アンケート調査の設計とデータ分析 | 4 イマチャレが開催するイベントへの参加（年1回程度） |
| 5 全国の事例や最新動向に関する資料の作成・提供 | 6 その他、ご相談への対応（随時） |

※事例や資料は要約版でご提供いたします。

チャレンジシティCM イマチャレ制作委員会が全国の自治体から、部活動の地域移行に向けた課題を解決する自治体を探し出すことをミッションとしています。公募で選定されたチャレンジシティは、1年間イマチャレ制作委員会がアドバイザーとなり、全国の自治体の事例共有、アンケート調査の企画やデータ分析、相談会や研修なども通じて、部活動改革を支援していきます。

イマチャレ

2023年度よりイマチャレでは、部活動改革を実行される自治体の皆様をサポートする「チャレンジシティ」の取り組みをスタートし、第一弾として静岡県静岡市、高知県黒潮町の部活動改革を伴走支援させていただきました。2024年度のイマチャレでは、チャレンジシティの規模をより拡大していきます。

部活動改革を前に進めていくためには、やはり自治体（特に教育委員会）のアクションが不可欠です。しかしながら、ヒト・モノ・カネの多様な課題解決を1つの自治体だけで進めていくことは困難です。

そこでイマチャレがプラットフォームとして、既に改革を実践している自治体同士のネットワークを強化し、またそこへイマチャレ制作委員会のメンバー及び有識者、大学、企業のカも結集することで、これからの学校スポーツ/地域スポーツの課題解決を全国でよりスムーズに行える仕組みをつくっていきます！

具体的なサポート内容は今後各自治体との協議の中でアップデートしていきますが、基本的な内容として、①部活動改革相談会への参加（月1回程度）、②アンケート調査の設計とデータ分析、③全国の事例や各課題に関してまとめた資料の作成・提供、④課題解決に向けた企業とのマッチング、⑤イマチャレが開催するイベントへの参加（年1,2回程度）、⑥その他、ご相談への対応（随時）を行う予定です。

既に数十の自治体と協議が始まっておりますので、ぜひ今後の展開にご期待ください。

自治体関係者向けオンライン相談会

新たな試みとして、自治体関係者を対象した「オンライン相談会」を開始！

自治体関係者向けオンライン相談会「部活動改革、課題整理と進め方」 全4回 開催

イマチャレ
オンラインプログラム

第1回

**地域人材を確保する
多様な好事例の紹介**

11月17日(金)
19:30 - 21:00

指導者バンクの設置
教員の兼職兼業
民間委託 大学連携

参加費 無料

代田 昭久
福岡市教育長

稲垣 和希
筑波大学体育スポーツ部
スポーツ・リサーチ・アドバイザー

自治体関係者向けオンライン相談会「部活動改革、課題整理と進め方」 全4回 開催

イマチャレ
オンラインプログラム

第2回

**国や行政だけに頼らない
持続可能な財源の確保**

12月14日(木)
19:30 - 21:00

受益者負担の取組み
企業版ふるさと納税
独自の助成金制度

スポンサー獲得
参加費 無料

代田 昭久
福岡市教育長

稲垣 和希
筑波大学体育スポーツ部
スポーツ・リサーチ・アドバイザー

オンラインプログラムのリニューアル

これまで

イマチャレ制作委員会
(2022年度版)

読売新聞
EDUSHP

経路: 読売新聞、EDUSHP、筑波大学

経路動画等に特化した日本語のメディア

2023年度へ

「チャレンジスタディ」を推進
全国の教育関係者向けに情報共有プラットフォームを構築

「チャレンジスタディ」を推進
全国の教育関係者向けに情報共有プラットフォームを構築

【レポート内容】

- 部活動改革相談会への参加 (1)と(2)版
- アンケート調査の設計・分析
- 全国事例・広域連携の共有

Copyright © 2023 イマチャレ制作委員会. All Rights Reserved.

指導者確保のポイント

指導者確保の優先順位とアプローチ

<組織を通じたアプローチ>

1. 教育委員会：現職教員・退職教員
兼職兼業制度の早急な確立
2. スポーツ協会/競技団体：
地域クラブ・少年団のコーチ
3. 大学：体育系学生・一般学生
※ 大学のメリット：資金・教育活動・ファンづくり
4. 企業：人材派遣、副業
※ 企業のメリット：ブランディング・CSR・従業員再定着
5. プロチーム・専門職：プロコーチ
※ プロチームのメリット：報酬が明確

<その他>

- 保護者・シニア：見守りだけの依頼？

Copyright © 2023 イマチャレ制作委員会. All Rights Reserved.

イマチャレからの情報提供だけでなく、参加した自治体の皆様からも積極的にノウハウの共有や現在直面している課題の共有/相談が行われています。

イマチャレ

オンラインプログラム

イマチャレオンラインプログラム

イベントのアーカイブ動画は
イマチャレ公式Youtubeで公開中!

イマチャレ
オンラインプログラム

イマチャレ制作委員会
部活動改革を実現する会

日本の部活動改革
地域移行に向けて、イマすべきこと #04

①井上康生氏・インタビュー
②勝利以外のスポーツの価値を考える

ゲスト (講演出演)
井上康生氏

1.26 (木) 19:30-21:00

イマチャレ

イマチャレ制作委員会
部活動改革を実現する会

米国トップ大学の事例から考える
勝利以外のスポーツの価値

ゲスト：河田剛氏 (スタンフォード大学フットボール部・コーチ) ※講演出演
山田晋三氏 (筑波大学AD・前アスレチックディレクター)

3.2 (木) 19:30-21:00

イマチャレコンベンション2023SPRING・振り返り

部活動の地域移行に向けた
具体的な課題を議論する

3/27に視聴者の皆さんから頂いた
沢山の質問にお答えします!

+有識者特別インタビューも
配信します!

1.26 (木) 19:30-21:00

イマチャレ
オンラインプログラム

5.25 (木) 19:30-21:00

部活動改革の
お悩み相談会

今日のテーマ
部活動改革に必要な
アクションとマインド

1.26 (木) 19:30-21:00

イマチャレ
オンラインプログラム

6.29 (木) 19:30-21:00

部活動改革で
民間企業が
できることは何か?

お悩み相談会

具体的なテーマ
新たな財源はどうつくる?
学校施設はどう活用する?

1.26 (木) 19:30-21:00

イマチャレ
オンラインプログラム

7.27 (木) 19:30-21:00

部活動改革で
教育委員会が
すべきことは何か?

お悩み相談会

具体的なテーマ
教育委員会にできること
学校・地域との連携

1.26 (木) 19:30-21:00

共創パートナー企業との取り組み（イマチャレ7号より）

イマチャレ
共創パートナー

地域クラブや地域指導者との連携は勿論のこと、「積極的な民間企業のサービスの活用」は今後益々大きな課題になっていく。既にイマチャレを通して、学校スポーツの課題解決に全面協力を表明している企業・サービスが様々登場している。本誌で新たなパートナーシップも含む種々の企業を是非ご紹介したい。

部活動の改革は「学校の外の力」と一体にならなければ真の解決はできない。



ソフトバンク社が展開を表明しているのは「自主的な探究学習活動への切り替え」と「リモート指導」の促進。いずれも少子化への対応や専門外の先生方の負担減に繋がる取り組みとなっている。



CSS社とDSK社の共同開発によるTREE PAYMENTが展開しているのは「お金の取り扱い」という重要なテーマ。地域クラブでも、教育委員会でも、業金や返金など、膨大で煩雑な業務を大幅に改善する仕組みを提供することができる。



JTB社が協力するのは学校・地域のスポーツ活動の「産官学のコーディネート」。部活動も、地域クラブも、大会も。少子化と共に新しいモデルづくりが必要とされる中、地域に資源を持つプロの視点での協力が大きな力になる。



ソフトバンク株式会社



ぐんぐん伸びるスポーツ練習アプリ
AIスマートコーチ



ソフトバンク株式会社は「ソフトバンクホークス」や「Bリーグ」などのプロスポーツを通じて視聴や観戦のDX化に取り組む中、スポーツ教育の分野においても新たな取り組みを始めています。子どもたちが主体的に映像撮影、比較などで自主的な探究学習を進めていく「AIスマートコーチ」と専門的なリポート指導が受けられる「スマートコーチ」は各地のスポーツ指導や部活動、そして体育でも活用されており、これまでに60自治体・225の部活で導入・活用事例を蓄えました。

TOPIC 1
B.DUNK KIDS PROJECT 連携
クリニック動画を配信!

ソフトバンク株式会社が手掛けるスポーツ支援サービス「AIスマートコーチ」のアプリでは、B.DUNK KIDS PROJECTと連携し、B.LEAGUEクラブ及び、スタムダンク奨学生によるクリニックメニューの提供も6月28日にスタートしました。



TOPIC 2
「体育」に向けた
コンテンツも開発へ

昨年度は中学校体育での活用事例を蓄えてきました。今年度は小学校を中心とした体育のコンテンツ開発に力を入れていきます。体育においても探究学習や自主的かつ積極的に運動に取り組める環境づくりを全力でサポートします。

共創パートナー企業との取り組み（イマチャレ7号より）

イマチャレ
共創パートナー

株式会社 CSS
株式会社電算システム
決済サービス：TREE PAYMENT

イマチャレ
共創パートナー

株式会社 JTB

「お金の取り扱い」という重要なテーマの改革へ

現金集金、集金袋からの脱却へ！
銀行振込以外の決済手段の多様化に対応
集金から返金、支払いまでシームレスに対応
現在抱える決済関連の作業負担をゼロへ

**前向きな課題解決で
事務負担を最小へ！**
みなさまの金銭の取扱いを安全、安心なモノへ！

決済サービス 「TREE PAYMENT」とは

「TREE PAYMENT」は、CSSおよびDSKが共創で開発した「決済サービスプラットフォーム」です。導入される事業者が決済手段を簡単に提供できることに加え、未収金回収や口座振替の不備対応など、今後の自治体・学校・地域スポーツ団体の金銭の取り扱い「集金から返金、謝礼の支払い」まで、部活動や学校で現状抱えているお金の管理の課題を大きく解決できる可能性があります。

なぜイマチャレの 共創パートナーに参画するのか？

部活動の地域移行における課題の1つに「スポーツ活動の有料化」があります。これまでの部活動は学校の中で無償で行われておりましたが、今後は、地域クラブへの移行はもちろんのこと、先生方が指導をするケースであっても、有料化の方向が示唆されています。それに伴い、各家庭からの集金や、指導者への謝金の支払い、未収金の回収や不参加時の返金等、お金の円滑な取扱いに関するさまざまな課題も生じて参ります。そこで、部活動改革や学校現場でのお金の取り扱いの課題解決に向けたイマチャレの共創パートナーとして、CSSおよびDSKが連携を開始することを決定いたしました。

まずは、イマチャレに登録している自治体・学校・地域事業者の皆様を中心に、部活動改革や学校現場でのお金の取り扱いの課題に関するヒアリングからスタート、全国の部活動改革の

実践者に向けて、最適な決済ソリューションの企画・提案を目指します。あわせて学校内外での「現金集金」をなくし、決済手段の多様化と効率化に向けてお手伝い致します。

イマチャレへの参画にあたり

**株式会社シーエスエス
代表取締役社長 小藤博司**

「部活動をはじめとした学校スポーツ改革の課題解決」に共感し、共創パートナーとして参画させていただくことを決定致しました。私たちは、部活動や学校教育における「お金」についての課題解決にお役立ちできるよう、安全、便利な対価的支払サービスを最新の価値を添えて提供してまいりたいと存じます。そのことを通じて、イマチャレが目指す、子どもたちの未来を明るくものにし、ひとりひとりの個性を尊重した、笑顔の絶えない教育現場づくりに、わずかながらでも貢献できれば幸甚でございます。

**株式会社電算システム
代表取締役社長執行役員 高橋謙夫**

当社は、「共創」により新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念としてまいりました。「イマチャレ」への参画は、文字通り「共創」の一環として、社会に貢献できるものと考えております。

当社が長年にわたり培ってきた決済サービスにおけるノウハウを活かして、部活動の地域移行をはじめとした学校教育における課題解決に貢献してまいります。

産・官・学・スポーツ、4つの視点で部活動改革に貢献する

なぜイマチャレの 共創パートナーに参画するのか？

株式会社JTBは従来の「旅行会社」から「交流創造会社」として人々の交流を促進し、社会課題を解決していきたいと考えています。東京オリンピック・パラリンピックの遺産を後世に伝え、スポーツを基軸にした事業の展開にも新規事業として取り組んでいます。JTBは、産・官・学・スポーツの4つ視点で今後貢献できる可能性があると考えています。「産」の視点では、35,000社とお取引実績があり、また「官」では全国555市区町村とお取引実績があり、旅行だけでなく、観光振興や観光DX、BPO等でも関わりがあります。「学」の視点では、修学旅行を中心に年間840,000人の生徒様をサポートしており、「スポーツ」ではプロ・アマの大きなスポーツイベント運営やスポーツ施設運営も行っています。これらを組み合わせることで学校スポーツや教育の課題を解決できると考えています。

2021年よりスタートした つくば市教育委員会・JTB茨城南 支店・筑波大学が連携した取り組み

JTB茨城南支店の藤田が、兼任して5年間、筑波大学及びつくば市内、つくば市内の中学校を担当しており、中学校の持つ課題や筑波大学の取り組みを様々なアレンジする中で、JTBが部活動の

課題に貢献できるのではと考え、トライアルをスタートしました。2021年度はつくば市内4校5部活でトライアル、2022年度は受託者負担によるトライアルを市内1校12部活で、また3校合同部活のトライアルも行いました。2023年度はJTB藤田がつくば市の部活動改革の統括コーディネーターに就任し、より深い形でつくば市全体の部活動改革に関わっています。トライアルを実施し、生徒がのびのびと活動できていること、先生に土日の時間を戻せたこと、また指導した大学生も好きなことで報酬が得られるなど、ポジティブな成果を得ることが出来ました。一方で、今後地域移行をするためには、早い段階で責任の所在を明確にする必要性も感じています。

イマチャレへの参画にあたり

株式会社JTB スポーツビジネス共創部

JTBとして今回の参画には3つの価値があると感じました。まずはつくばでのモデルケースを設計します。

- ①部活動改革を中心とした、全国の学校スポーツ課題、地域スポーツ課題解決における、今後の弊社事業開発に向けた情報収集を相互に行うこと
- ②筑波大学様の有する上記課題解決に向けた豊富な知見をお借りし、弊社事業開発に向けたコンタクトンゴパートナー（共創事業パートナー）としての連携を行うこと
- ③弊社との連携した取組を全国の自治体関係者、教育関係者に向けて発信すること



産官学のステークホルダー様とのパートナーシップを築くことで、心を動かすソリューションを提供する。学校との関わりを持ちたいと思っている企業・部活動改革に寄与できる可能性のある企業と学校や自治体を繋ぎ交流を生み出すことができるのが、JTBの価値であると考え、つくば市で実証を開始している。

その他・イマチャレメンバーの活動

経済産業省の「未来のブカツ」を考える～2022年度実証事業の成果から～イマチャレ制作委員会の代田昭久・稲垣和希が登壇

未来のブカツ SPORTS

「未来のブカツ」を考える

～2022年度実証事業の成果から～

関野 義之

星野 明宏

稲垣 和希

代田 昭久

橋田 裕

吉倉 秀和

遠藤 佐知子

登壇予定事業者：株式会社エンボス企画 / 一般社団法人さいたまスポーツコミッション / スポーツデータバンク沖縄株式会社

3.3 FRI | 16:00-18:00 Youtube Live (LIVE)

主催 共催

イベントのアーカイブ動画 [こちら](#)



その他・イマチャレメンバーの活動

第20回B&G全国教育長会議に イマチャレ製作委員会の代田昭久・稲垣和希が登壇



■詳細はこちら
https://www.bgf.or.jp/activity/report/2023/2023_kyoikuc_hokaigi.html?fbclid=IwAR36zBbFjpWfCcsL4KDWIXUpHCU9iLtBTyUMPYtpHTZix8VceDHMSbXpb_c



11月8日に公益財団法人B&G財団主催「第20回B&G全国教育長会議」が11月8日に開催され、イマチャレ製作委員会から、代田昭久さん（長野県飯田市前教育長）と稲垣和希さん（筑波大学）が登壇。今年は過去最多となる全国44道府県212自治体から教育長202人、代理出席10人など総勢260人以上の自治体関係者が参加。「地域の子どもは地域で育てる！—子どもが主役の部活動改革—」をテーマに、少子化の進展に伴って学校単位で持続が難しくなっている部活動の地域移行に向けた取り組みや、子ども中心の改革の進め方について議論が行われました。

稲垣さんの発表では、今夏に実施したイマチャレ1万人アンケートの結果を元に、活動時間の適正化や多様な体験の必要性、子どもたち・教員・保護者の声を聞いて改革を進めていくことの重要性について発表。代田さんからは飯田市教育長時代に取り組んだ部活動の「オフ期間の導入」の経緯や成果、また現在仕掛けている飯田下伊那地区での「エンジョイスクエア」の取り組みも紹介されました。

イマチャレ

2024年もイマチャレは部活動改革の情報発信だけにとどまらず
ネットワークづくりや部活動改革の実践のサポートをしてまいりますので、
来年もどうぞよろしくお願いいたします。

また、皆さまにとって良い年になるようお祈り申し上げます。
どうぞよいお年をお迎えください。

イマチャレ制作委員会

＼リニューアル／



WEBサイト



Youtube Channel



メルマガ登録



読売新聞



イマチャレ制作委員会

MAIL | ima.challe@eduship.co.jp